

ひ3ば

「未来デザインプログラム」、中学生対象に実施

CLOMA 持続可能な資源循環型社会へ子供たちの学びを支援



講堂で参加者全員にCLOMAの取り組みやプログラムの趣旨を説明(洗足学園中学高等学校にて)



生徒が参加しての実験が行われた

その後各教室に分かれて、各社による出前授業や実験が行われた。参加した生徒たちは、みな熱心に授業に聞き入っていた。

今回の実施は、洗足学園中学高等学校(東京都江東区)、洗足学園中学高等学校(川崎市)、四條畷学園中学校(大阪府大東市)、桐蔭中学校(和歌山市)、夢野中学校(神戸市)、有野中学校(同)、星和台中学校(同)、友が丘中学校(同)、太田中学校(同)の9校約1500人が参加。CLOMA加盟企業が参加各校を対象に出前授業、出前実験、工場見学、学習ウェブ教材の提供などを実施する。生徒たちが作成したものをもとに8月上旬に各校の代表チームを決定し、合計10チームが9月25日に行われる成果発表会で発表する予定となっている。

6月12日には参加校の一つである洗足学園中学高等学校で出前授業が行われ、中学2年生260人が参加。味の素、遠東石塚グリーンペット、キッコーマン、東罐興業、フォーステック、三菱ケミカルの6社が出前授業を行った。

各社の出前授業の前には、講堂に参加者全員を集め、CLOMAで

同プロジェクトは資源循環に関する取り組みを学ぶ中で、働く人々の思いや願いに対する理解を深め、地球と共生するための課題解決の視点や考え方を育むことを目的に実施。中学生たちがやりたい未来の姿を想像し、自分の言葉で伝えていく、そんな持続可能な社会づくりに向けた子供たちの成長を支援し、CLOMA参加企業とともに未来を描いていくことを目指している。

海洋プラスチック問題に取り組む約500社の企業のアライアンスである「CLOMA」(クリーン・オーション・マテリアル・アライアンス)は中学生を対象に、持続可能な資源循環型社会の未来を担う子供たちの学びを支援する「CLOMA未来デザインプログラム」(学校教育)を実施している。同プログラムは今年度からスタートし、全国5都市から9つの中学校、合計約1500人の中学生が参加。各校でCLOMA加盟企業が出前授業を行った後、それぞれが「みんなが笑顔になれる未来の社会」を想像し、物語として表現する試みで、9月25日に大阪・関西万博会場で成果発表会・表彰式が予定されている。

今回はかえつ有明中・高等学校(東京都江東区)、洗足学園中学高等学校(川崎市)、四條畷学園中学校(大阪府大東市)、桐蔭中学校(和歌山市)、夢野中学校(神戸市)、有野中学校(同)、星和台中学校(同)、友が丘中学校(同)、太田中学校(同)の9校約1500人が参加。CLOMA加盟企業が参加各校を対象に出前授業、出前実験、工場見学、学習ウェブ教材の提供などを実施する。



各社の出前授業に生徒たちは熱心に聞き入っていた